

☆発表のポイント

・できる限り聴衆に伝えようとしているか

原稿を書きますが、そのまま読む必要はありません。スライドを見て伝えたいことを話し、聴衆に伝えたいことをうったえかけるように話しましょう。

・図を見せる時間をとっているか

聴衆は図を見て理解するのに意外に時間がかかります。十分すぎるほど時間を取りましょう。

・注目してほしいところをポインターで指しているか

大切なところやしっかり見てもらいたいところはポインターで指してアピールしましょう。

☆発表の評価のポイント

発表の評価のポイントは以下に示すとおりです。できるだけ多くの項目をクリアできるような発表を目指そう。

ア	着眼点・着想力・課題設定力	テーマが適切に設定されている。
イ	論理的	テーマ→仮説→方法（実験）→結果→考察といった一貫性がある。主張と根拠が明確である。
ウ	研究のプロセス	努力や苦労した点、新たな発見のあとが見られる部分がある。
エ	プレゼンカ	話し方、パワポの提示の仕方、質疑応答

このポイントを踏まえた評価基準は以下の通りです。しかし、これはまだ未完成。グループ発表会やペア練習を経て、各クラス独自の評価基準を作り上げていきましょう。

☆評価基準

ア	3	… 独創的な発想や考え方、テーマ設定に非常に興味・関心がもてる。
	2	… 発想や考え方、テーマ設定に工夫があり、興味・関心がもてる。
	1	… 発想や考え方、テーマ設定に全く工夫が感じられず興味・関心が持てない。
イ	3	… テーマ→仮説→方法（実験）→結果→考察といった一貫性がある。また仮説や方法も適切になされており、考察にも納得できる。
	2	… テーマ→仮説→方法（実験）→結果→考察といった一貫性はあるが仮説や方法にまだ不十分な点が見られる。
	1	… テーマ→仮説→方法（実験）→結果→考察といった一貫性が見られない。
ウ	2	… 調査方法（実験）において、独自の工夫または修正や改善の跡が見られる。また新たな発見の跡などが見られる。
	1	… 調査方法（実験）において、独自の工夫または修正や改善の跡が見られる。
	0	… 調査方法（実験）において、工夫や修正や改善の跡が見られない。
エ	2	… パワーポイントは課題研究をわかりやすくつたえるための役割を果たしており、質疑応答も含め、話し方は十分聴衆をひきつけられていた。
	1	… パワーポイント、話し方、の不十分な点があり、研究内容が伝わらない点があった。
	0	… 研究内容が伝わるようなプレゼンテーションではなかった。

b P S 演習③③ グループ発表会

スライドショーの次のページへ… ↓ボタン or →ボタン or Enter ボタン or 右クリック
 前のページへ… ↑ボタン or ←ボタン or BackSpace ボタン

発表者：() A:十分満足 B: おおむね満足 C: 努力を要する

チェックポイント	評価 A, B, C	改善すべきところ	チェックポイントには ないが良かったところ
テーマに興味関心が持てるか。			
テーマ→仮説→方法（実験）→結果→考察といった一貫性があるか。			
調査方法（実験）において、独自の工夫または修正や改善の跡が見られるか。			
スライド構成や、話し方は適切か。			

発表者：()

チェックポイント	評価 A, B, C	改善すべきところ	チェックポイントには ないが良かったところ
テーマに興味関心が持てるか。			
テーマ→仮説→方法（実験）→結果→考察といった一貫性があるか。			
調査方法（実験）において、独自の工夫または修正や改善の跡が見られるか。			
スライド構成や、話し方は適切か。			

自分の発表に対するアドバイス記入欄（これから直せるものを書こう）

b P S 演習③③ グループ発表会（記入例）

スライドショーの次のページへ… ↓ ボタン or → ボタン or Enter ボタン or 右クリック
前のページへ… ↑ ボタン or ← ボタン or BackSpace ボタン

発表者：（ 武生 太郎 ） A:十分満足 B:おおむね満足 C:努力を要する

チェックポイント（評価基準）	評価 A, B, C	改善すべきところ	評価基準にはないが 良かったところ
テーマに興味関心が持てるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・対象が「武生高校」なのに、テーマが「高校」と一般的になっている。 ・結果だけ記されており、考察がなされていない。 ・先行研究との違いを明白にすべき。 ・声が小さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に現地に行って調査している。
テーマ→仮説→方法（実験）→結果→考察といった一貫性があるか。	C		
調査方法（実験）において、独自の工夫または修正や改善の跡が見られるか。	A		
スライド構成や、話し方は適切か。	B		

発表者：（ 葵 花子 ）

チェックポイント	評価 A, B, C	改善すべきところ	チェックポイントには ないが良かったところ
テーマに興味関心が持てるか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・結果を導くデータ数が少なすぎる。 ・ネットの研究方法与全く同じように行っており、新規性がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校からの研究を継続している。 ・動画を用いてわかりやすくしている。
テーマ→仮説→方法（実験）→結果→考察といった一貫性があるか。	B		
調査方法（実験）において、独自の工夫または修正や改善の跡が見られるか。	C		
スライド構成や、話し方は適切か。	A		

自分の発表に対するアドバイス記入欄（これから直せるものを書こう）

- ・スライドの文字を大きくする。
- ・図を提示する時間を 10 秒にする。

b P S 演習③③ 振り返り

演習③③ルーブリック

学習活動	グループになり、パワーポイントの発表練習をしながらお互いの評価をする。改善すべき点や評価基準にない良い部分を挙げ、相手に伝える。発表者は伝えられた内容をメモし、自分の作品をよりよいものにする。
期待以上 (S)	グループでパワーポイントの発表練習を積極的に行うことができる。また、メンバーの発表練習をききながら、改善すべき点や評価基準にない良い部分を挙げ、相手に伝えることができる。
十分満足 (A)	グループでパワーポイントの発表練習を行うことができる。また、メンバーの発表練習をききながら、改善すべき点を挙げることもできる。
おおむね満足 (B)	グループでパワーポイントの発表練習を行うことができる。また、メンバーの発表練習をききながら、改善すべき点や評価基準にない良い部分を考えようと努力はするが、明確に挙げるできない。
努力を要する (C)	グループでパワーポイントの発表練習を行うことができない。また、メンバーの発表練習をききながら、改善すべき点や評価基準にない良い部分を考えられない。

**振り返りと自己評価は Web で入力するため
テキストに記載欄はありません。**